



ほどエコネット通信



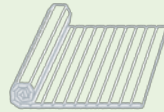
～ほどがや地球温暖化対策推進ネットワーク～



秋も深まり、朝夕めっきり冷え込む日が続いております。これから、ますます寒くなるこの季節に、ご家庭でできる省エネの工夫をお届けします。

お湯の上手な使い方

①お風呂のふたをこまめに閉める



お風呂を沸かすときや入浴後はお風呂のふたをすることが大切です。ふたをすることでお湯が冷めにくくなり、お湯を沸かすときに必要なエネルギーが減ります。お風呂のふたをこまめに閉めることで、**年間 18 m³のガス量が削減され、年間 2,290 円の節約と 39kg の CO₂ 削減**につながります。

②時間を空けずに続けて入浴する



お風呂にふたをしても、湯温は2時間で 1.5℃下がります。入浴時間にあわせてお風呂を沸かして、家族が続けて入浴すれば、沸かし直しが不要になり、**年間 13 m³のガス量が削減され、年間 1,720 円の節約と 29kg の CO₂ 削減**につながります。

③省エネタイプのシャワーヘッドを使う



シャワーヘッドを節水型に交換するだけで、お湯の使用量を 20%近く減らすことができます。例えばシャワーの「出す/止める」の切り替えを手元のスイッチでできる省エネタイプのシャワーヘッドを使うと、シャワーの使用時間が短くなり、**年間 50 m³のガス量と水 1.8 m³が削減され、年間 10,980 円の節約と 116kg の CO₂ 削減**につながります。

(出典：東京ガス「ウルトラ省エネ BOOK (2015)」、開隆堂「省エネ行動スタート BOOK」)

毎日使うものだけど、意外と知らないエコ対策！

温水洗浄便座のふたは、使用しないときは閉めましょう。**年間 35kWh の電気量が削減され、年間 900 円の節約と 24kg の CO₂ 削減**につながります。また、便座の設定温度や洗浄水の温度を下げることも省エネにつながります。



(出典：東京ガス「ウルトラ省エネ BOOK (2015)」、開隆堂「省エネ行動スタート BOOK」)

問い合わせ

保土ヶ谷区区政推進課企画調整係 電話：045-334-6228 F A X：045-333-7945

✉ho-eco@city.yokohama.jp 〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町 2-9